

第3回「あそぼうさい・まなぼうさい」に参加して

イベントの主催者は名古屋みどり災害ボランティアネットワークですが、緑区役所及びユニー株式会社はじめ多くの企業・団体のご協力のお蔭で3月10日（日）10：00～16：00ヒルズウオーク徳重ガーディンズB1ウオークコートで3回目の開催となりました。

イベントの趣旨は『もうすぐ起こるといわれています南海トラフの大地震。お家の備えは大丈夫ですか！イザという時、お子さん一人でも災害に立ち向かえる「わざ」を遊びながら楽しく学べるように！』災害体験できる8個のブースでそれぞれ工夫を凝らして実施することになりました。

- ①受付で選んだ缶バッジを身につけてさあ～スタートです。
- ②つってみたゾウ！
- ③たべてみたゾウ！
- ④そなえるゾウ！
- ⑤じゅうでんするゾウ！
- ⑥じしんだゾウ！
- ⑦はなしてみるゾウ！
- ⑧ひなんするゾウ！
- ⑨まっくらだゾウ！を体験し
- ⑩ゴールで～す。お土産もらって帰りましょう。



当日は生憎の雨にもかかわらず開店前からチラシ持参で並んで待っている姿も見え、10時開店早々各ブース共行列ができる好調なスタートが切れました。お昼頃は少しゆっくり見てもらうこともできましたが、各ブース担当は休憩も取れない状態が終了の16時まで続き、来場者がなんと1,081名となりました。

今回の対応スタッフは、当会会員だけでは足りないので、高校性・大学生・緑区外の団体からも応援してもらい58名の大所帯となりましたが、皆様のご協力により大きなトラブルもなく、大成功のうちに終わることができ本当に良かったです。

私の担当はスタッフの受入・誘導・チラシ配布でしたが、当日の歩数は13,903歩でした。（疲れた！）

来年も開催予定ですので、ボラネットみどり会員の皆様もご家族とご一緒に体験いただければ幸いです。

名古屋みどり災害ボランティアネットワーク 内山品幸



編集後記

桜…入学・進学・就職と、出発の時。「おめでとう！」初々しい姿を目にするのも嬉しい。初孫が入園です。娘もなんとか就職できました。「幼稚園の帽子は赤いの。ランドセルなの♡♡」とかわいい声で何度もお話ししてくれます。娘とは今まで着たことのないようなカチツとしたスーツを一緒に買いに行きました。あしたを信じてキラキラしている。いいなあ～。

私ときたら、できなくなってきたコトをひとつひとつ数えあげている。『しっかりおし!!』パシッ!!と両手で頬をたたいて深呼吸。 <A>

ボラネットみどり かわら版 50号

2019.4.15 発行：ボラネットみどり

緑区在宅サービスセンターが4月1日にオープン。もちろんバリアフリー。明るくてとてもキレイです。ポーッとしていると今までの鹿山の社協へ行ってしまいそうですから、皆さんも慣れるまで気をつけましょう！

右の写真は3月26日に行なわれた完成式で、尾藤社協会長、馬淵緑区長、伊東副市長ほかの来賓によるテープカットの様子です。



8か月ぶりの「かわら版」です！新元号に代わるタイミングで何とか発行にこぎつけました。2月23日（土）開催の「第14回ボランティアフェスティバルinみどり」ではたくさんの会員の皆様にご協力いただいたお蔭で、無事終わることができました。

二年ぶりの開催のため、なにをどうしたらよいか？記憶があいまいなまま準備を進めてきましたが、13回積み上げてきた経験（失敗も含め）を活かすことができたと思います。今年度も「ボラフェス」を始め、例会、研修会の充実にお力添えをお願いします。

つながる・ひろがるボラネットみどり 出会えてよかった仲間たち



【訃報】田中さん 長いあいだお世話になりました。ありがとう！

ボラネットみどりで永年一緒に活動を共にし、ボラフェスでは実行の大黒柱としてみんなから頼りにされてきた副会長の田中守さんが、昨年末にご逝去されました。

ここに謹んで生前の田中さんのたくさんの功績に感謝し、ご冥福をお祈りします。



昨年度後半の活動をふりかえって

2月には二年ぶりのボランティアフェスティバルを、そして3月にはスキルアップ研修会を開催しました。

みどりおもちゃ図書館 活動報告

ボランティアフェスティバルinみどり

2月23日(土)開催
会場：徳重地区会館 4F 体育室、多目的室

今回初参加の「みどりおもちゃ図書館」さん。狭いスペースでしたが赤ちゃんや子ども達、大人までおもちゃに夢中でした。午後からはなごや福祉用具プラザの出展もあり、一日中、来場者が途切れませんでした。

見て、聞いて、参加して
最後にお菓子をゲット!



「相談横丁」では
高校生からも
ボランティアの相談が
ありました



「なごや福祉用具プラザ」
は福祉用具、自助具など
便利な小物グッズや癒し
のアザラシ型ロボットなどを
展示



手づくりおもちゃに
興味津々の子どもたち
布の魚つりは大人も
楽しみました

スキルアップ研修②

施設見学： 鉄道技術研修センター (名鉄大江駅隣接)
3月6日(水)実施 参加人数：18名



南区大江駅隣にある矢作建設工業(株)の鉄道技術研修センターを見学しました。線路に降りてホームの高さを確認したり、踏切や線路の仕組みについて説明していただいた後、踏切を車イスで渡ったり、アイマスクをつけてホーム上や階段を歩く疑似体験をしました。非常停止ボタンを押すという貴重な体験をした人もいました。

ホームって思っていたより
ずいぶん高い! 落ちたら
よじのぼれるかなあ?



踏切やホームに設置されて
いる「非常停止ボタン」
何かあったら、迷わずに
押しましょう!



レールの溝や段差を
確認。車イスで踏切を
ちゃんと渡り切れるか
心配...

緑福社会館「手作りサロン ～布のランチバイキング作り～」

①3月1日(金) ②3月13日(水)開催
講師：南区障がい児のための布の絵本・遊具づくりボランティアグループ
「たねの会」

昨年好評だった「布のおもちゃ作り」を今年も企画しました。1回目は18名、2回目は15名の参加で、皆さん和気あいあいと細かい針仕事に励みました。かわいい出来映えに皆さん大喜びで楽しい時を過ごしました。



手づくりサロンの様子と完成した作品

みどり多文化交流会 3月24日(日)開催

満開のシデコブシの白がまぶしい好天の中、10カ国の方々をお迎えして無事に楽しく交流会を催すことができました。

空手では、目の前で割れる分厚い板に歓声が上がりました。アフリカの太鼓の響きとダンス。日本の盆踊りにも似て、いつのまにか大きな輪になって息があがるほど踊りました。甲冑は本物のように作られているうえ、軽く服の上から着ることができるので、とても人気。若者たちはグループで着ては、刀を抜いて勝ちどきを上げて楽しんでいました。これは必見と思ったのは、「シタール」の演奏。映画「第三の男」の冒頭の音楽といえば、皆さんご存じなのではないでしょうか。大きな弦楽器でした。

結びに、名古屋国際センターから「地域に根ざしたこのような交流がますます望まれていく中で、地道な活動を続けて来られ、これからも手本となっていくでしょう」と励ましの言葉をいただきました。

おりがみ、みどり災害ボラ、緑鯨城会のいつもかわらぬご支援、まことにありがとうございました。

